

前回提示したニーズ調査票からの修正点

(1) 全体的な修正点、大きな修正点

- ・全ての文章にルビを挿入しました。
- ・平易な言い回し、端的な文章に変更しました。
- ・表紙裏面に、調査票の活用イメージ図を改新しました。
- ・就労状況の設問は、同じ設問に父親・母親を並記しました（問3 関連）。
- ・幼児教育無償化に関する設問を挿入しました（問8）。

(2) 委員の皆さまからの意見に対する対応（案）

㊦：第1回会議での意見

㊧：意見書による意見

	主な意見	対応
回収方法について	㊦／郵送法の場合、生活動線の中にポストがない。郵送法だけでは回収率は上がらない。保育園、幼稚園で集めてもらうのはよい案だと思う。さらに、ショッピングセンターなど生活動線の中に回収箱があれば回収率が増えるのではないか。幼稚園、保育園以外で行くところは買い物くらいだと思う。	ニーズ調査票の議論が収斂した時点で、ご意見のあった、市内のショッピングセンターや病院等に、周知や回収等について協議を行います。 協力いただけた場合は、表紙裏面の「調査票の提出方法」欄に記入します。
	㊧／働いている人など、生活動線の違いがある。病院（小児科）にポスターが貼ってあると良い。	
	㊦／PTAとしては学校に出すということが一番だと思う。	調査対象児の兄姉が小学校等に在学中の可能性がありますが、主に未就学児（0～5歳児）を対象にした調査のため、幼稚園・保育所等での回収とさせていただきます。
	㊦／親子プレイステーション事業にも0～2歳児の親子が来る。公民館事業などでの回収も入れたほうが良い。手渡しは大変なので、郵送で仕方ないと思う。先生から一言、声かけをもらい、保育園や幼稚園に回収箱を置いてもらうことで回収率も上がると思う。	今回の調査では、まちづくり協議会に協力をいただき、回収箱を設置していただく予定です。幼稚園・保育所等への設置については、前回に引き続き協力を依頼いたします。
	㊦／アンケートの量が多いため、親子プレイステーション事業等で子どもが遊んでいるときに書く時間を設けたりしてはどうか。また、見返りがある、何かもらえるとよいのではないか。	子どもセンターや子育て支援センターにて、調査票の記入・相談日を設けたいと思います。 なお、今回の調査は無記名のため、謝礼品等については対応ができないと考えています。

	主な意見	対応
	㊦／最近は郵送でも良いし、インターネットでも返却できるということもある。スマートフォン等そういった手段を入れると上がるのではないか。	インターネット回答を検討しましたが、番号を選択する設問、数字を答える設問など回答（入力）方法が複雑であり、対応が難しく、紙面での調査とさせていただきます。
調査期間について	㊦／アンケートの回収期間が長いのではないか。あまり長いとまあいいとなってしまう。	調査票が送達される日数を考えると、2週間程度（土日が2回）になると想定され、妥当な期間と考えます。なお、現在のスケジュールでは前回調査よりも調査期間は短くなります。
	㊦／12月は幼稚園、学校で評価アンケートがされるため、少し早めのほうが良い。12月14日であればダブらないと思う	ご指摘のとおり、市内の幼稚園では12月初旬～中旬、小学校では12月・1月頃に、A4用紙1～2枚の内容で評価アンケートを実施しています。一度に調査票が手元に届かないよう、早めに発送できるように準備を進めていきます。
調査内容について	㊦／収入の範囲で、金額の単位はここまで細かく聞いたほうがよいのか。	大まかな区分に設定する場合、設定理由を説明しにくいのが実情です。100万単位とすることにより、回答者は概ねの年収を選択しやすいと考えます。なお、統計局の労働力調査では、100万単位を基本に、200万までは50万単位、700万以上是700万～、1000万～、1500万以上の3区分とし、合計12区分になっています。
	㊦／年収については大まかでよいのではないか。	
	㊦／地域や近所の方と関わっていますかという設問で、「1. あいさつをする程度、2. ときどき道で話をする、3. 相手の家に行って話をする」に比べ、「4. 地域行事や町内の溝掃除などに積極的に参加し、交流している」は、ハードルが高い。	回答するには選び方が難しい選択肢となっていたため、主観的な選択肢に修正しました（問28）。
	㊦／育児休業の部分については、3歳までの育児休業取得希望、1歳までの育児休業の取得希望は不要ではないか。育児休業取得後、職場に復帰したかの後に、育児休業からは、何歳何か月のときに実際に職場復帰したか、希望より早く復帰する（した）理由、希望する時期・施設に入所できる場合、どの時期に保育施設への入所を希望するかでよいのではないか。	ご指摘を踏まえ修正しました。 問4-2～問4-5の4問に整理しました。

主な意見	対応
㊦／ファミリー・サポート・センターと聞いて分からない人のために、普段使われている名前を加えた方が分かりやすい。	6 ページに用語解説を記載し、市内の施設を具体的な名称で列記しました。
㊦／小規模な保育施設や家庭的保育、事業所内保育施設とあるが、実際に利用している人は家庭的保育施設なのかわからず預けている人もいると思う。参考で記載しているように、小規模保育や家庭的保育施設についても具体的な名前を記載した方が良い。	なお、ファミリー・サポート・センターは、「すくすく」の通称で知られているため、選択肢では、ファミリー・サポート・センター（すくすく）との表記をしました。
㊦／事業を利用していますかとあるが、預けている施設という感覚だと思う。親からみると園や施設の方が良い。	「事業」という表記は、「施設」等に修正しました。
㊦／質問の答えによって技番を迫りかけて行かなければなりません。付番の仕方に分かりやすさを加えて欲しい。	回答者を限定する設問については、回答すべき人が分かるよう、矢印で誘導したり、グレーのアミ掛けに太文字で限定条件を記載したり、工夫を行いました。 また、前問の回答を見返すような状況を極力避けるよう、同様の設問は連続するように修正しました。
㊦／問7で「1.」「12.」～「15.」を選択した方におうかがいしますとあるが、どこにも子どもを預けていない人におうかがいしますなど、自分がどこの設問に答えればよいのか分かりやすくした方が良い。	
㊦／表現が違うだけのような同じ設問も多いと思うので、少しでも量を少なくする方が保護者は答えてくれる。量が多いだけで「後にしよう」となる。	同じようなことを何度も記載させる設問は、集約することで簡易になるように工夫しました。例えば、現在の利用状況と、利用時間を2つの設問で聞いていましたが、今回、問6に集約しました。
㊦／一時保育や「すくすく」など利用するにあたって、一定の利用料がかかると記載してあるが、いくらかによって利用するかどうかの判断になるため、利用料をどこかに記載してもらいたい。	一定の利用料が発生する場合は追記しました（問9-1、11-2）。ただし、一時預かりは、認可外施設を含み設定金額が多様であるため、記載をしていません（問13）。
㊦／新たに追加する設問については、関連する場所に記載してほしい。日常的にみてもらえるか、同居の人数などは最初に聞くべきだと思う。	関連する設問が並ぶよう配置しました。同居人数については、問1（8）に配置しました。
㊦／県外や市外から転入してきた母が孤立しているケースも考えられるので、近江八幡市での在住期間を問うことで、回答の背景分析にも役に立つ。	回答者の在住期間を、問1（3）に追加しました。

	主な意見	対応
その他	㊦／回収率60%以上を目標とするなら、もっと“言葉”をわかりやすく、簡単な短い文章にした方が良い。	文章については、できる限り、簡単かつ短くなるように修正しました。
	㊧／八幡には公園に行っても遊具がないという声を聞いたことがある。子どもの遊び場としては、大型量販店の子ども遊び広場だと安心して遊べる。安心して遊べる場がほしい。	今後の取り組み充実に関する設問の選択肢に、充実を望む声が多い「公園の整備」を入れました（問30）。
	㊨／ボリュームが非常に多い。これだけの手間をかけて書いたため、良くなったという実感が伴わなければならない。	調査結果を丁寧に分析するとともに、その結果は広報等にて報告させていただきます。また、親子の声に沿った方針や計画を策定できるよう進めていくとともに、事業化された新規施策については広く報告できるように努めていきます。
	㊩／クロス集計をしなければ意味がない質問もある。回答が十分に活かされるような集計方法や、今後の取り組みにつなげることを願います。また、調査結果を受けた新規事業については、その状況を必ず保護者に返して欲しい。「大変な調査だったけど、回答して良かった」と思え、次回につながります。	
	㊪／小学校では、ほとんどの学校でルビを打っている。回収率を上げるなら、ルビも必要だと思う。常用漢字以外には、ルビを打つ方が親切だと思う。	ご意見を踏まえ、全ての文章にルビを打ちました。 なお、市役所にてポルトガル語と英語の通訳を行っていますので、表紙にその旨を記載しました。
	㊫／回答する際にサポートが受けられるなどの記載があればルビなしでいいかどうか。	